



—牛久沼のほとり—

栗原 功くりはら いさお

佐久良東雄は、徳川第11代將軍家斉治政下の文化8年（1811年）に加波山山頂を源とする恋瀬川の左岸、浦須村の名主を務める飯島平蔵の嫡男として生まれた。東雄の尊王精神は、丸に三つ柏紋を用いる飯島家が第50代桓武天皇の皇孫平高望の子常陸大掾（たけふちまう）三

であつたところから義兄弟の契りを結ぶ。一方、尊王の意気はますます揚がり、弟子たちに楠正成を「武士之人之鏡」とたたえ、さらに水戸藩の藤田東湖より、水戸徳川家への仕官を勧められると、厳然襟を正し「我主とするところの者は、畏くも京都にまします今

上天皇是なり」と、拒絶した。天保14年(1843年)、32歳になった良哉は^{ざんぐ}還俗して、江戸に出、雅号の東雄を用いた。水戸藩医鈴木玄兆の娘輝子^{めと}を娶った。2年後に大坂に出て北久宝寺町^{いやすり}に鎮座する天皇家ゆかりの坐摩神社に祝部(守衛)^{いはうべ}として仕えた。

「皇室を蔑ろにする」と東雄が批判を繰り返していた幕府では、安政5年（1858年）4月に大老職に就任した井伊直弼が、徳川第14代将軍に家茂を

撃、殺害した。首謀者の水戸藩奥祐筆頭取高橋多一郎は商人に姿を変え、磯部三郎兵衛と称して大坂に逃れてきた。東雄は笠間浪士島男也と高橋をかかへくまい、大坂奉行所に捕縛はくはくされた。東雄は江戸に護送される途中、「あす知らぬ露の命のつかのまもこころならずで過すべしやは」と詠む。伝馬町の獄中では「吾徳川の粟を食わず」と絶食、同年6月絶命した。享年49歳。

高杉晋作と牛久宿一筆者は以前、本誌にかの有名な高杉晋作が牛久宿のはたごに泊まったことがあったと書いた。その高杉晋作は19歳の時に長州藩校明倫館と幕府昌平坂学問所で学び、吉田松陰が開いていた松下村塾にも出入りした。松下村塾には高杉より1歳若い松陰の義弟久坂玄瑞がいた。高杉は、保守的な中級藩士の父親に「松下村塾にはちかづくな。久坂とはつき合うな」と厳しく言い渡されていたので、松下村塾には夜に家を抜け出し通っていた。万延元年(1860年)の春、22歳になった高杉は、藩命である海軍蒸気科修業のため軍艦丙辰丸に乗って江戸に着いた。桜田の長州藩上屋敷から、幕末三剣客の一人斎藤弥九郎が開いていた道場練兵館に通った。休暇で常陸笠間の水戸学の思想家加藤桜老を訪ねる旅の途中、8月29日に牛久宿のはたごに泊まった、と『試撃行日譜』に記されている。『試撃行日譜』について東行(高杉晋作の号)記念館に問い合わせると、「高杉の筆で書かれたものであることは疑う余地はない」とのことであった。一方、この時点で、高杉晋作の名は長州藩以外では知られていないのに「高杉晋作が田宮宿のはたごに泊まって抜刀した」とする口碑がある。そもそも高杉家は、清和源氏武田家系譜にあり、長州藩中級藩士の家柄で、晋作の場合も封建学(儒学および朱子学)を修得していた人格者で、久坂らの過激な尊王攘夷運動には批判的だった。このうち政敵(藩の保守派および幕府)との戦いでは抜刀したこともあったであろうが、農民や町民相手に抜刀するはずがない。幕末の動乱騒擾の中で、水戸街道宿々の豪商、豪農、はたごに高名な人物の名を語った浪人の押し込みが横行した。が、彼らの大半は、牛久宿、中村宿、土浦町の本陣および脇本陣や名主方に無宿浪人取り締まりのため駐在していた幕府勘定奉行管掌下の八州廻の手下に御用になった。ちなみに22歳の高杉は、政争による修羅場の中を生き延び、歴史に名をなして27年と8カ月の生涯を閉じた。その間に、高杉は幕府の第一次長州征伐の際、身柄を幕府へ引き渡されそうになったとき、夜更けに萩城下から逃げ出し、谷梅之助と変名で筑前博多(現福岡県)に潜伏したことがあった。また奇兵隊以下の諸隊を率いて反乱、討幕派長州藩政府の樹立に成功したが、その後反対派に命を付け狙われ、気違い連中に殺されたんでは間尺に合わんと、谷潜蔵と名を変え、船で伊予道後(現愛媛県)に逃れた。次に讃岐国(現香川県)那珂郡榎井村の日柳燕石宅に身を寄せたが、一月余りで高杉藩に察知され、役人に捕らえられるところを逃げ出した。高杉の上司桂小五郎(のちの木戸孝允)は、斎藤弥九郎の門に入りその塾頭を務める剣客であったがほとんど抜刀したことはなく、池田屋事件(元治元年・1864年)の時は身をもって逃れ、後に「逃げの小五郎」とやゆされ、新堀松輔の変名でこじきに身をやつて京都市中に身を潜め工作したことがあった。西郷吉之助(隆盛)は菊池源吾または大島三右衛門の変名を用いた。坂本竜馬は才谷梅太郎、伊藤俊輔(博文)は越智斧太郎・花山春輔・デボナー・花山春太郎・吉村莊蔵・林宇一、近藤勇は大久保大和と、それぞれ変名を使っていた。

※「高杉晋作と牛久宿」は、広報うしく平成16年11月15日号から平成17年2月15日号まで連載されました。